

教育・保育に係る量の見込み及びその提供体制の確保方策（R3実績）

（単位：人）

	1号認定（2号認定以外の3～5歳児）			2号認定（保育認定を受けた3～5歳児）							1号+2号 (③+⑥)
	量の見込み (需要量) ①	確保方策 (供給量) ②	③ (②-①)	量の見込み(需要量)			確保方策(供給量)			⑥ (⑤-④)	
				④(A+B)	教育ニーズ A	保育ニーズ B	⑤(C+D)	教育保育施設 C	企業主導型保育 施設の地域枠 D		
計画値	5,496	8,089	2,593	20,699	2,215	18,484	21,649	21,573	76	950	3,543
実績値	-	9,442	3,946	-	-	-	19,051	18,876	175	▲ 1,648	2,298
差(実績-計画)	-	1,353	-	-	-	-	▲ 2,598	▲ 2,697	99	-	▲ 1,245

	3号認定（0歳児）				3号認定（1・2歳児）						需要量 (総数) I ①+④+⑦+⑩	供給量 (総数) II ②+⑤+⑧+⑪	II-I ③+⑥+⑨+⑫
	量の見込み (需要量) ⑦	確保方策(供給量)			⑨ (⑧-⑦)	量の見込み (需要量) ⑩	確保方策(供給量)			⑫ (⑪-⑩)			
		⑧(E+F)	教育保育施設 E	企業主導型保育 施設の地域枠 F			⑪(G+H)	教育保育施設 G	企業主導型保育 施設の地域枠 H				
計画値	3,252	3,918	3,886	32	666	12,225	12,668	12,594	74	443	41,672	46,324	4,652
実績値	-	3,945	3,777	168	693	-	12,390	12,001	389	165	-	44,828	3,156
差(実績-計画)	-	27	▲ 109	136	-	-	▲ 278	▲ 593	315	-	-	▲ 1,496	-

○量の見込み(需要量)は、令和元年時点の教育・保育施設の利用状況に、今後利用したいという潜在的な利用希望を加えたものである。

○確保方策(供給量)は、令和元年時点で、各市町村の利用定員数を積み上げたものであり、1号認定(教育認定を受けた3～5歳児)及び3号認定(0歳児)は計画を上回る利用定員となっている。

○今後とも、施設整備(ハード面)、保育士等の確保(ソフト面)及び利用定員調整(ソフト面)等により、適切な需給調整となるよう市町村と協議してまいりたい。

【参考】各施設利用児童数 1号+2号：26,614人、3号(0歳)：4,622人、3号(1・2歳)：11,984人 計43,220人